

ものづくりの迫力ある現場を見学

第8期ものづくり科学創造クラブ



JFEスチール(株)西日本製鉄所倉敷地区の高炉

日常の生活では体験することのできない、ものづくりの現場を見学したり実験や工作などの活動を通じて、子どもたちが自分で考えることや工夫することを身に付けるとともに、科学やものづくりに対する興味・関心を高め、科学的な発想や創造性豊かな人間性を育むことを目的として「西条市ものづくり科学創造クラブ」。小学校5・6年生を対象に、1年間で6回の活動を行っています。

現在第8期の会員33人が活動中ですが、これまでに158人のクラブ卒業生を送り出しています。

大規模製鉄所の迫力に興奮第8期のクラブ員はこれまで、半導体や光センサーの仕組みを学んだり、はんだごてを使った工作などに取り組んできましたが、夏休み期間中には岡山県倉敷市のJFEスチール(株)西日本製鉄所倉敷地区での工場見学を行いました。原料の輸入から製品の出荷までを一貫して行う国内屈指の鉄鋼メーカーであるJFEスチール(株)。今回の見学先である西日本製鉄所倉敷地区の敷地面積は1089万平方メートルと、東京ドーム240個分もの広さを誇っており、そのスケールの大きさと敷地内に敷かれた線路やさまざまな施設に、クラブ員たちは圧倒されると同時に興味津々の様子でした。

製鉄現場の見学に先立ち、まず工場の施設や鉄ができるまでの工程について説明を受けた後、敷地内を移動しました。あまりにも広い敷地のためバスを利用しました。

造船や橋りょう工事などで使用される鋼板をつくる「厚板工場」では、1200度もの高温で真っ赤になった鉄の塊を、ローラー上に流しながら任意の厚さの板にしていますが、間近で見ると多量に吹き出す水蒸気の迫力は満点でした。その後も、工場内を走る大型特殊車両や、人工衛星を載せたように見える「トールピードカー」という貨車に溶かした鉄を流し込んでいくところなど、普段は見ることができないダイナミックな光景の連続に、クラブ員は目を輝かせていました。

そして最後に参加者全員で記念撮影を行い、大興奮の工場見学を終えました。

■参加したクラブ員の声

○工場内に電車(貨車)が通

○初めてあんなに大きな鉄板を見ましたが、少しずつ薄くしていく技術はすごいと思いました。

○厚板工場の中で見た真っ赤な鉄の塊は、迫力があってびっくりしました。



①熱く溶けた鉄を運ぶ「トールピードカー」。
②見学前に工場の概要説明を受けました。
③貴重な体験を終えてみんなで記念写真。

サイクスからの事業案内

たくましい社会人・職業人として自立できるように

ものづくり人材の育成を!

四国地方で屈指のものづくり集積地である西条市では、将来のものづくり人材を育成するために、次世代のものづくり人材育成事業に取り組んでいます。

上記の「ものづくり科学創造クラブ」もその一つですが、そのほかにも子どもたちに、地域産業に対する興味や関心を高めてもらうため、(株)クラレ西条事業所と連携して、化学の楽しさや面白さを体験する「わくわく化学教室」や工場見学を、毎年3回実施するなどしています。

今後も引き続き、地域のものづくり産業の基盤強化や競争力強化を図るために、さまざまな施策を展開し取り組みを進めていくこととしています。

問合せ

産業情報支援センター
TEL 0897-53-0010